

## 愛知産青果物の動向

「青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

前年並 : ±1%台以下  
 わずか : ±2%台以内  
 や や : ±3～5%台  
 かなり : ±6～15%台  
 大 幅 : ±16%以上

### ○ 名古屋中央卸売市場（品目：みつば）

	入 荷 量 (t)	うち愛知産	卸 売 価 格 (円/kg)	愛知産	前年主要産地 (上位3産地)
2023年実績	467	417 (89%)	704	715	愛知 (89%) 静岡 (8%) 福岡 (2%)
2024年見通し	470	—	700	—	
概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
県内の海部及び名古屋地域からの入荷が中心となる。産地が数量を調整して生産しているため、入荷量及び価格は前年並の見込み。 4、5月の需要の低い時期から産地では生産の一部を他品目へ切り替えており、荷動きは8月まで悪い見込み。 物流の効率化のため名古屋を經由して京阪へ出荷する県外からの荷は増える。 <b>【見通し】</b> 入荷量：前年並。(0.6%) 価 格：前年並。(△0.6%)			夏場の高温により、変色や腐敗などが発生しやすい時期となる。品質管理に引き続き留意願いたい。		

### ○ 東京都中央卸売市場（品目：ペコロス）

	入 荷 量 (t)	うち愛知産	卸 売 価 格 (円/kg)	愛知産	前年主要産地 (上位3産地)
2023年実績	103	16 (15%)	923	1,402	北海道 (81%) 愛知 (15%) ニュージーランド (2%)
2024年見通し	96	—	920	—	
概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
北海道のたまねぎは、作付面積は前年並であったが、高温障害等の影響で出荷量は平年を大きく下回っている。 本県産も作付面積は前年並であるが、3～4月の天候不順のため出荷量がまとまるのは例年よりも遅れる見込み。愛知が主力となる5～8月は入荷量の少ない時期であるため、堅調な相場推移が見込まれる。 <b>【見通し】</b> 入荷量：前年をかなり下回る。(△6.8%) 価 格：前年並。(△0.3%)			ペコロスの需要は多くが業務向けであり、北海道からの入荷がなくなる5～8月の愛知産に対する期待は大きく、品質の評価は非常に高い。 愛知は夏場を担うほぼ唯一の国内産地であり、品質を維持して安定した出荷をしてほしい。		